厚木市シルバー人材センター会報　第97号　令和元年7月発行

ねんりん

題字・厚木市長　小林常良

発行元　公益社団法人
厚木市シルバー人材センター
所在・厚木市松枝 2-5-17
TEL・046-224-9585
FAX・046-222-8559
E-mail・atsugisc@sjc.ne.jp
URL・http://www.atsugi-sjc.org

30th

厚木市シルバー人材センター 設立30周年記念号

令和と30周年
あなたも私も
気分一新

令和元年度定時総会開催

松本副市長はじめ、市議会議長、老連会長、市福祉部長を迎え盛大に催されました

記念事業の演芸

入会説明会のお知らせ

9月まで第1・第2水曜日（午前10時）の月2回実施します！

地域の「支え手」「担い手」として、生涯現役社会の実現に向けて

シルバーは親切・丁寧

個人・家庭からの仕事や、企業からの継続的な仕事の受注拡大を図っています。ご近所の方や以前勤務していた会社をご紹介ください。

お引受けできる仕事

家事援助　高齢者介助　育児支援　除草・草刈
植木剪定　襖・障子張替　修繕（大工・塗装）
パソコン出張指導　宛名書き　屋内外軽作業など

情報をお待ちしています　046-224-9585 まで

シルバー会員大募集！　お知り合いの方をご紹介ください

家庭からの受注拡大！ 女性会員増強中!!

入会資格

厚木市内在住の60歳以上で健康で働く意欲がありセンターの目的に賛同する方

入会説明会受講（毎月第2水曜日　午前10時）
接遇研修会受講（毎月第3水曜日　午前10時）

会員登録 入会手続

入会申込書・承諾書・配分金振込口座届の提出
理事長承認・年会費3千円納入

シルバーは人の輪・知恵の輪・地域の輪

この会報は地域班長・グループリーダーの協力により会員の皆さんに配付されています。

30周年を迎えて

理事長
志村 利夫

当センターは、平成元年４月１日に社団法人として設立以来、ここでめでたく30周年という節目の年を迎えることができました。

設立当初５百６人だった会員数は、現在では千人を超え、約１億２千万円だった契約金額は、約４億６千万円へと発展を遂げてまいりました。

これも偏に行政をはじめとする関係諸団体の皆様の御支援と御協力、そして、会員皆様の御尽力の賜物であり、心より感謝申し上げます。

平成24年には、より公益性を求められ、社会的信頼度の高い公益社団法人へ移行し、新たなスタートを切りました。

平成30年３月には、第１次基本計画を策定し、５箇年の計画目標を定めました。

昨年度は、「介護予防・日常生活支援総合事業」の受託や「空き家等対策の推進に関する協定書」の締結により高齢社会に適応した「社会の担い手」となる受注を得ることができ、契約金額は順調に推移しています。会員数については、横ばいと伸び悩んでおります。

全国的な再雇用制度等の浸透により、センターへの加入年齢が押し上げられるなどの背景はありますが、ＰＲ活動を強化し、会員ニーズの取り入れなど、さらに魅力あるセンターを目指し、会員の増強に努めてまいります。

今年は、元号が令和に代わり、新たな時代を迎えました。少子高齢化が急速に進展し、労働力人口が減少している中、シルバー人材センターは「生涯現役社会」の実現に大いに寄与できるものと期待されております。

令和の時代も関係各位には、変わらぬ御支援と御協力をお願い申し上げますとともに、会員皆様の御健勝を祈念し、設立30周年を迎えての挨拶といたします。

30周年を祝して

厚木市長
小林 常良

厚木市シルバー人材センターが、設立30周年の記念すべき節目を迎えられますことを心からお祝い申し上げます。

貴センターは平成元年の法人化以来、長きにわたり地域の「支え手」・「担い手」として、地域社会の活性化に大きく貢献してこられました。これもひとえに、志村利夫理事長をはじめ、歴代の理事長、役員並びに会員の皆様の御努力の賜物であり、心から敬意を表します。

この三十年の間に、時代は超高齢・人口減少社会に突入しました。本市でも、市民の四人に一人が65歳以上という超高齢社会を迎えています。こうした状況の中、生涯現役社会を目指して働く会員の皆様の姿は、私たちにとって希望の光となっています。また、本市が目指す「地域包括ケア社会」の実現に向け、第一線で取り組んでいただいておりますことに、心から感謝を申し上げます。要支援者等の方々の日常生活を支援するサービスは、高齢者の皆様の孤立を防ぎ、自分らしい暮らしを続けるための支えとなっています。

貴センターの皆様が掲げる「自主・自立、共働・共助」の基本理念は、まさに今の時代に求められているものです。今後につきましても、この基本理念の下、高齢者の就業機会の確保や提供、ボランティア活動などに積極的に取り組んでいただきたいと存じます。本市といたしましても、皆様が培ってこられた豊富な経験や知識を最大限に活用させていただき、皆様が明るく元気に過ごせる「日本一のまちあつぎ」を目指してまいります。

結びに、厚木市シルバー人材センターが、設立30周年を契機として一層の御発展を遂げられますとともに、会員の皆様の御健勝を心からお祈りいたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

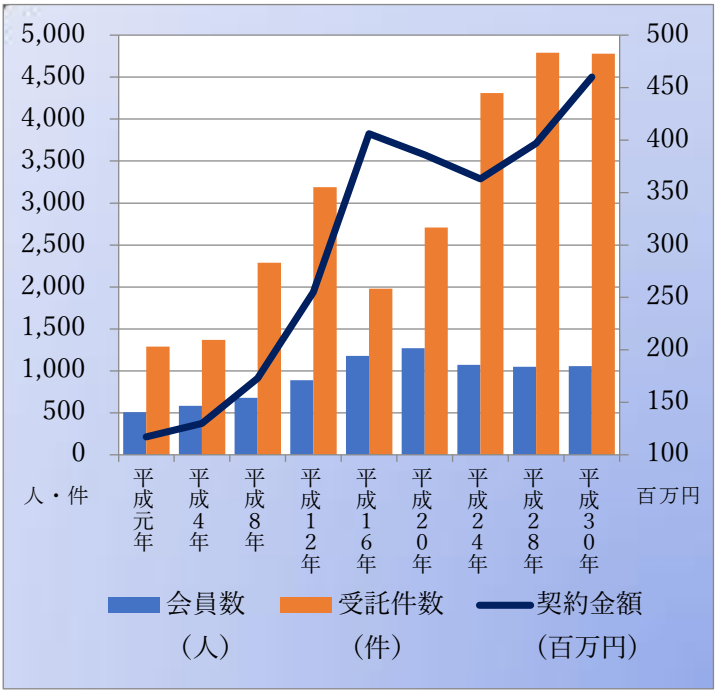
公益社団法人厚木市シルバー人材センターのあゆみ

センターのあゆみ　日本の出来事

平成元年（1989年）	**社団法人厚木市シルバー人材センター発足** 初の大型関税である消費税法が施行され、消費税の3%徴収が始まった
平成4年（1992年）	**地域班を各公民館単位に設置** 国家公務員の週休2日制スタート
平成11年（1999年）	**厚木市シルバー人材センター設立10周年記念式典開催** ソニーが子犬型ペットロボット「AIBO」の発売を開始
平成15年（2003年）	**「シルバーの日」を設置し、各地域班で活動開始** 地上デジタルテレビ放送が東京、大阪、名古屋で開始
平成16年（2004年）	**ホームページ運用開始** ヨン様フィーバー、マツケンサンバがヒット
平成20年（2008年）	**中・長期基本計画策定** 後期高齢者医療制度（長寿医療制度）スタート
平成22年（2010年）	**事務費率を5%から7%へ引き上げ** 小惑星探査機「はやぶさ」が地球に帰還
平成23年（2011年）	**顧客満足度調査実施** 東日本大震災発生
平成24年（2012年）	**公益社団法人移行** 東京スカイツリー開業
平成26年（2014年）	**請負代金のコンビニ支払い導入** 消費税が5%から8%に増税
平成27年（2015年）	**安全就業優良賞受賞、女性会員強化のための女子会結成** マイナンバー制度がスタート、北陸新幹線、長野-金沢間が開業
平成30年（2018年）	**厚木市自転車等駐車場の指定管理業務受注** 築地市場が83年の歴史に幕を閉じ豊洲市場へ移転
令和元年（2019年）	**厚木市シルバー人材センター設立30周年記念事業実施** 202年ぶりに天皇が生前退位。陛下は「上皇」に

年度	会員数（人）	受託件数（件）	契約金額（百万円）
平成元年	506	1,289	117
平成4年	582	1,368	130
平成8年	680	2,288	173
平成12年	887	3,190	255
平成16年	1,179	1,981	406
平成20年	1,270	2,710	386
平成24年	1,072	4,311	363
平成28年	1,047	4,793	397
平成30年	1,056	4,779	460

受託件数：平成 12 年度まで年間契約は 1 ヶ月 1 件とカウント
平成 13 年度以降年間契約は年間 1 件とカウント



設立30周年記念事業において、センターの事業発展のため、多年にわたり貢献され、功績が顕著であった役員(6名)及び会員(14名)が表彰されました。

役員表彰

役員として3期以上

■ 森住 勝夫（三田）
■ 田中 忠義（小野）
■ 飯島 洋治（南町）
■ 吉澤 和枝（愛甲）
■ 古舘 博士（吾妻町）
■ 荻山 清治（七沢）

（敬称略）

正会員表彰

正会員として継続して20年以上

◆ 笠井 康枝（温水） 24年
◆ 山口 太志（愛名） 21年
◆ 柳田 博司（妻田北） 21年
◆ 小野 芳靖（飯山） 21年
◆ 栗原 實（及川） 20年
◆ 糟谷 きく江（鳶尾） 20年
◆ 森 美津子（中荻野） 20年
◆ 太田 正志（妻田東） 20年
◆ 飯田 芳美（森の里） 20年
◆ 小林 忠雄（鳶尾） 20年
◆ 手塚 泰男（旭町） 20年
◆ 沼田 金喜（鳶尾） 20年
◆ 佐伯 文夫（緑ヶ丘） 20年
◆ 宇野 克彦（林） 20年

（敬称略）

センターでの思い出

笠井 康枝（温水）

平成6年の11月にセンターに入会しました。その1年前に生まれた初孫が、今25歳で一人前に働いているのですから、時間が経つのは早いものです。

週1回の仕事の日は仲間とのふれあいの場であり、ランチタイムには、おかずやお菓子を分けあったりと、楽しく過ごしました。

また、「一日奉仕の日」と「シルバーの日」には、中央公園などの草むしりに精を出しました。

年1回のお楽しみ旅行では、旅行の最後に職員の「家に着くまでが旅行ですから。」の一言が愉快な印象として残っています。

これまで25年あまり、社会の一員として仕事を続けてきたことが、85歳の今も元気でいられる秘訣の一つかもしれません。これからも、楽しみながら仕事を続けられたらと思っています。

センターの想い出

受賞者からお言葉を頂きました。
これからもよろしくお願い致します。

センターの益々の発展を

手塚 泰男（旭町）

私は60歳で協和銀行（現りそな銀行）の関連会社を退職後に、厚木南公民館の夜間休日受付業務の募集があり、採用されました。

その後、シルバー人材センターにその業務が委託されることとなり、入会しました。

私の主な仕事としては、厚木南地域に4箇所ある公園の草むしりで、4、5人の気の合うメンバーに恵まれて楽しく務めることができました。

平成20年から2年間、厚木南地域の班長と理事に就任しました。事務局の方々の暖かな御協力を得られた数年間でした。

現在働き方改革について政府もいろいろと力を入れておりますが、全国のシルバー人材センターの役割が今後大いに注目されてくると思います。

会員の方々の健康と、センターの発展を切に祈っております。

令和元年度定時総会開催

6月14日、令和元年度定時総会は松本副市長、難波厚木市議会議長、小松老連会長、安藤福祉部長を迎え、会員八五四名（委任状含む）の出席のなか厚木市文化会館大ホールで開催され、4件の報告が行われた後、議案2件が審議され、原案通り承認されました。

事業計画・収支予算

現在、少子高齢化が急速に進展し、労働力人口が減少している中、企業においては定年延長や、65歳までの継続雇用が広く浸透し、もはや高齢者が働くことは珍しいことではなくなっています。

一方、人口の高齢化に伴い年金財源の確保の面からも、更なる給付開始年齢の引き上げが議論されつつあります。

このため、高齢者のより積極的な就労化が求められており、働ける人が働くことができる環境づくりを、国を上げて取り組みつつあります。

当センターにおいてもこのような状況を鑑みて、次のような事業計画を策定しました。

1　計画の視点

・会員の増強
・受注の拡大
・組織体制の充実
・安全適正就業の徹底
・財政基盤の確立
・連携・交流活動の推進

2　事業計画目標

●会員数　1130人
（前年度比74人増）

●経常収益　約5億1957万円
主な内訳は、受注額約4億6千万円、会費約339万円、補助金約505万円としました。
また経常費用は、事業費約5億861万円、管理費約1095万円としました。

事業報告・収支決算

項目＼年度	平成３０年度	平成２９年度	前年度比
契約金額	460.651千円	413,654千円	11.4%
会員数	1,051人	1,071人	△ 1.4%
就業率	92.5%	89.9%	2.6ﾎﾟｲﾝﾄ

平成30年度の事業実績は、民間事業所等からの受注が減少しているものの、公共団体や個人からの就業拡大を図った結果、第一次基本計画で設定した目標値を大幅に上回る約4億6千万円の受注額に達することができました。

全国的に事業実績の伸びが低迷している中、当センターがこのような成果を上げることができたのは、市民の皆様から信頼され、発注者のニーズに応えた業務の遂行が図られたと共に、会員・役職員等が一体となって普及啓発活動を行い、就業機会の拡大に努めたことによるものです。

役員選任

役員の任期満了、または選出母体の役員改選に伴い、退任された理事の方に代わり、新たに3名の方が選任されました。

退任役員（敬称略）

令和元年6月14日をもって3人の理事が退任されました。

前常務理事　石井　勝
前理事　石塚俊二
前理事　三堀友康

新任役員（敬称略）

常務理事　加藤　毅
理事　武藤慎一
理事　大塚清一

任期は、令和元年6月14日より、令和2年度定時総会までです。
皆様よろしくお願いいたします。

平成三十年度 第二回地域班会議

平成最後となる第二回地域班会議は、去る2月12日の厚木北地域班を皮切りに、2月26日の緑ヶ丘地域班まで全17地域班で開催されました。

地域班全体での出席者数は476人で出席率は、44・9％でした。

会議の案件のうち、業務受注情報として、平成31年2月1日現在、8公民館の管理などで12名の募集があったほか、除草班・植木班の就業者募集案内がありました。

会員増強については、近年、会員数が微増にとどまっていますが業務量の増加に対応するため会員数の増強が急務で、会員からも身近な人にセンターへの入会を勧誘してほしい旨の要請がありました。

平成30年度の事業実績については、管理部門の契約金額が大幅に伸びたことにより過去最高になる見通しであるとの報告がありました。

就業時の事故発生件数は、近年減少傾向にあり、引き続き事故がないよう注意喚起がありました。

その他の案件として、新年度会費納入の手続きと、センター設立30周年記念事業が定時総会に合わせ6月14日厚木市文化会館大ホールで開催されるとの説明がありました。

厚木警察署・交通課の警察官を講師に交通安全講習も行われました。最近、高齢者による交通事故で加害者や被害者となるケースが多く、大変参考になる内容でした。

新地域班長紹介

相川地域班（敬称略）

石田　誠

任期は2020年3月31日まで

愛甲地域班長

関屋　猛

地域班活動紹介 愛甲地域班

今回は愛甲地域班で実施している活動の中で、愛甲女子会について御紹介します。

この会は、毎年10月に実施しているボランティア活動「シルバーの日」の後、労をねぎらうために開催した懇親会がきっかけでした。

3回ほど懇親会を開催した後、誰でも参加できるようにと、ボランティア活動後の懇親会から地域のお店で仲間と楽しい時間を過ごすための食事会へと姿を変えました。

食事会で一番よく聞く声は、「同じ地域班同士でも仕事が違うと中々会うこともなく、自分以外の会員がどんな仕事をしているかなど、知らないことばかりでしたが、この食事会をきっかけに、お互いのことを知る情報交換ができてすごく楽しい」というものでした。

毎回の話題は様々で、趣味の話から健康維持の話やシルバーの会員が増えるためにはどうしたら良いのかなど組織の強化につながる話題などですが、あっという間に時間が過ぎます。

これからも、仲間を増やすとともに楽しく充実した生活を送れるよう活動していきたいと思います。

接遇を考える(第7回)

引き継がれる真摯な気持ち

毛利台　拝郷　芳樹

接遇マナー研修会を経て初めて就業する日、研修会で学んだことを頭の中で反復して公民館業務につきました。

まず挨拶から、さわやかに明るく声を掛けることに注意をし「**こんにちは**」と声をかけると利用者からも「**こんにちは**」と返事が返ってきました、これで挨拶の自信がつきました。

その人から「新人さん？」と問われ「はい今後とも宜しくお願いします」と答えると、「今までいた○○さんはどうしたの」と言われ「○○さんは公民館業務を終了されました」と伝えると、色々な事に親切に対応して頂きました、会ったら宜しくお伝えくださいとお願いされました。

前任者は接遇研修で学んだ事を遂行してお客様から好感を得ていたのだなと思います、私も『オアシスハヨイ』に心掛け前任者に負けない様にしていこうと思いました。

仕事の内容・決まり事・手続き等をよく把握して現在に至っています。

今は駐輪場で「おはようございます」「行ってらっしゃい」、お客様からは「行って来ます」・「お願いします」と挨拶が返ってきます。

就業の終わりには、委任された業務結果を確認することによって翌日の担当者に安心して業務の引き継ぎが出来るよう心掛けています。

この様に接遇で学んだ事をお客様とのコミュニケーションや業務で実践しています。

女子の会

「さつき趣味の会」便り

会長　長尾久美子

毎月第４水曜日に飛田先生のご指導によるカラオケの会を実施しております。

健康を意識した発声練習をはじめ、呼吸法を取り入れたカリキュラムを中心に楽しくレッスンが進みます。

今では全員課題曲を一人で歌うことに挑戦することで、自信をつけてきました。

知らず知らずのうちに声も伸びやかになり、「歌の心」にまで気持ちを入れられるようになってきました。

先生からは「月１回のレッスンにもかかわらず上達が早く、声の伸びが素晴らしい」とお褒めの言葉を頂きました。

参加者からは「日頃大きな声を出すこともない生活なので、１か月に１回でも歌うことで気分もスッキリ笑顔も増えた」と感想がありました。

皆様も一緒に楽しく歌いませんか、参加お待ちしています。

国保年金課からの健康アドバイス

国保年金課　櫨山　潤

「特定健診・長寿健診」が始まりました。

厚木市では、本年度も特定・長寿健診を実施しています。

これらの健診は、国民健康保険及び後期高齢者医療制度加入者の方を対象とした、メタボリックシンドロームや生活習慣病の発症、重症化予防を目的とした健康診断で、６月中旬にがん検診等の案内と一緒に受診券を発送しました。

血液検査や血圧測定、検尿等の検査を通常よりも約９千円安く受けられますので、受診券が届いたら医療機関へ予約して受診してください。

ご不明な点等ありましたら、国保年金課国保管理係☎０４６-２２５-２１２５（特定健診）または長寿医療係　☎０４６-２２５-２２２３（長寿健診）までご連絡ください。

職場訪問
交通指導サービス

今回は、市営玉川球場前で行っている「交通指導サービス」の現場を訪れ、指導を見学した後、リーダーの今村正昭さんらチーム4名からお話を伺いました。

この業務は、岡津古久の日産テクニカルセンター（ＮＴＣ）に自動車通勤する社員と、地域中学生の通学の安全共生を図るため、日産クリエイティブサービスから受注し、4年前から行っています。

サービス業務は8名が2チームに分かれ、交互に平日の早朝7時～8時30分の間、球場前の交差点と近くのＴ字路で2名ずつが交通整理と安全監視を行っています。

現場を訪れた日は、早朝から激しい降雨の悪条件でした。交通指導の際には、オレンジ色の制服・制帽に身を固め、手には誘導棒を持ち、見通しの悪い交差点で、手際よく自動車の往来と登校する中学生の道路横断を指導していました。

現場付近の玉川北側には、森の里～愛甲石田駅方面に通じる幹線道路「上粕屋厚木線」があり、多くの車両が走行しています。

一方、交通指導を行っている玉川南側の道路は、本来、脇道ですが、ＮＴＣへの通勤路にもなり、信号機が少ないことも影響してか、かなりの交通量で、見通しの悪い場所での交通指導は、一瞬の気も許せない緊張した業務です。

現場付近には、鎌倉時代の武将、愛甲三郎と源頼朝の妻、北条政子との確執を伝える「縁切り橋」の石碑が建立されています。

交通指導員の姿は交通災害からの「縁切り」を目指す、オレンジ色のエイトマンとして目に焼き付きました。

鷲尾にお住まいの前川まり子さんにお話しを伺いました。

前川さんは、訪問看護のお仕事を退職後、シルバー人材センターのチラシを見て興味がわき会員登録をしたそうです。

現在は、個人のお宅と公民館で、お仕事をされています。

相手の要望に寄り添い、良いサービスを行うことに、最も配慮しています。

仕事先で信頼関係が築けた時がとても嬉しかったそうです。

相手に媚びることなく、自分を素直に出すことが相手との距離をなくす近道とも話していました。

今、若手落語家の寄席に行くことが楽しみで、また、料理・食べ歩きも大好きで、友達と楽しい時間を過ごしリフレッシュしているとのことです。

これからも、まごころを忘れず仕事を続け、得意な料理をいかせることができたら最高と話してくださいました。

安全管理委員長　田中行衛

日頃から会員の皆様には、安全・適正就業にご協力いただきありがとうございます。

およそ30年間の平成が終わり、新たに令和の時代がスタートしました。

安全管理委員会では、今後も次のようなことを重点項目に置き、安全の確保を図ります。

- **刈払い機による事故防止（飛び石による人身事故、車両ガラスの破損）**
- **熱中症予防と対策の周知（こまめに水分と塩分の補給）**
- **交通事故防止**
- **安全パトロールの強化**

☆平成30年度の事故発生件数

- 傷害事故 4件
- 賠償事故 5件

合計 9件

（参考：平成29年度 9件）

サークル活動

ゴルフ同好会

ゴルフ同好会コンペの日取り、場所・時間、プレイ後の交流会・会費などはセンターH・P↓会員のページをご覧ください。

又、同H・Pでは各行事ごとの参加者を募集しています。

☎〇四六・二二四・九五八五　長島

パソ楽同好会

パソ楽同好会は、会員約30名。毎月第3月曜は「基礎コース」でパソコンの基礎を学びます。第4月曜は一般コースで、チラシ、レシピ、案内状、年賀状、画像付きカレンダー、家計簿、旅のアルバム、動画編集等を幅広く学習します。

又、いずれのコースもお助けマンが数名いるので安心して参加できます。教材は事前にメール配信するので、自宅で予習・復習ができます。

☎〇九〇・四三七四・一一二二　飯島

ストレッチサークル

ストレッチで固くなった筋肉と体を伸ばし、可動域を広げ、代謝アップ、ストレス発散をしましょう。

先ずは見学と体験からお気軽にご参加ください。

月3回、水曜日10時～12時、

☎〇八〇・三四七一・〇〇八六　橋本

さつき趣味の会

さつき趣味の会は、唯一女子のみで構成されている会です。

何をするかは会員の総意で決めています。昨年度は睦合西地区公民館祭りの芸能発表会に参加して「長生きサンバ」に挑戦しました。

また、第4水曜日はカラオケの先生指導によるカラオケ教室を開いています。是非ご参加ください。

☎〇四六・二二四・九五八五　香川

我が家の簡単レシピ

五目あんかけ餅

［材料２人前］

豚バラ肉 70ｇ　むきエビ６尾
白菜３枚　人参 4cm
しめじ 1/3 袋　もやし 1/3 袋
（あれば筍の水煮少々）
しょうがのみじん切り少々
餅 4～5 個　水 200cc
醤油大さじ 1.5　中華スープの素小さじ 1　酒大さじ 1
砂糖小さじ 1　塩こしょう少々　ごま油少々
片栗粉大さじ 2

〔作り方〕

① 白菜は縦に真ん中から切りそれを横に 3cm に切り、じくと葉に分ける。人参は 4cm の薄い短冊に切る。しめじはばらす。筍は 4cm に切る。肉は一口大に切る。
② フライパンに油を熱ししょうが、豚肉、白菜のじく、人参の順に入れて炒める。
③ そこに、塩こしょう除いたすべての調味料を入れて 4～5 分煮る。
④ オーブントースターで餅を焼く。
⑤ ③に白菜の葉、しめじ、もやし、筍、エビを入れてさらに 4～5 分煮る。
⑥ 塩こしょうで味を調え、片栗粉を同量の水で溶いて少しずつ入れてとろみをつけ、ごま油を入れて餅の上にかける。

★餅だけでなく、ご飯や炒めた焼きそば麺の上にかけても美味しいですよ♫　by k

みんなの広場

みんなの広場では風景写真などのほかに、川柳・俳句・旅行記等の文芸ジャンル、絵・イラスト・漫画などの投稿をお待ちしています。

又、コレクション、ガーデニング、趣味の自作品、自慢話、自慢の一品、座右の銘、お気に入りの名言、意見等(当センターへの意見も OK)も求めています。

掲載可能なモノならナンデモありです。シルバー世代に、社会に、コメント付きで発信して欲しい。

また掲載されたモノへのご意見、ご要望も掲載します。

応募方法

メール又は電子媒体でお願いします。締めきりはありません。
可能な号に掲載します。
郵送の場合はみんなの広場投稿係と明記の上、当センターにお送りください。

メールアドレス

0070atsugisc@sjc.ne.jp

理事会報告

○第1回理事会（5月10日（金））

審議事項は

「平成30年度収支予算補正第1号」

「平成30年度事業報告」

「平成30年度収支決算」

「理事の選任」

「令和元年度定時総会」

「設立30周年記念事業」

「表彰」

の7件が議題となり、原案のとおり承認されました。

報告事項については

「正会員入会申込者」

が報告されました。

○第2回理事会（6月14日（金））

審議事項

「常務理事の選定」が議題となり、原案どおり承認されました。

事業報告

○第一回地域班会議及び健康管理講習会

6月19日（水）～7月2日（火）

450人参加

事業の計画

○一日奉仕の日

実施日　7月27日(土)8時～9時

場　所　厚木中央公園

内　容　公園除草・清掃

○第1回応急手当講習会

実施日　9月18日(水)13時30分

場　所　生きがいセンター

内　容　AED等による救命講習

募集人数　20名程度

○シルバーの日

実施日　10月19日（土）前後週間

場　所　各地域班による

内　容　ボランティア活動

安全・適正就業強化月間

国が実施する「全国安全週間」に合わせ、7月は「安全・適正就業強化月間」です。今回は平成30年度の最優秀安全就業標語を御紹介します。

焦る　慌てる　イエローカード
無理する　手を抜く　レッドカード

熱中症予防について

対策1　暑さに負けない体づくり

日常的に適度な運動をおこない、適切な食事、十分な睡眠をとるようにしましょう。

対策2　日常生活から工夫を！

適度な湿度を保つため、空調や衣服を工夫し、常に熱中症を気にする習慣をつけましょう。

対策3　身を守るアクションを！

炎天下での作業時は適度な水分と塩分を補給し、こまめに休憩をとるようにしましょう。

スマイルトゥスマイル

自宅のパソコンや自分のスマートフォンから「配分金明細」や「センターからのお知らせ」を確認できるサービスです。無料で利用できますのでご希望の方は事務局までお問い合わせください。

☎046-224-9585

会員数（平成31年4月30日現在）
・男性794人　・女性244人
合計1038人

事務連絡

■ 人事異動

3月31日付けで石井勝常務理事兼事務局長が退職し、新たに前事務局次長の加藤毅氏が常務理事兼事務局長に就任しました。また、事務局次長には小島利忠氏が着任しました。

常務理事
（兼）事務局長
加藤　毅

事務局次長
小島　利忠

【編集後記】

令和元年度定時総会・設立30周年記念事業が盛大に実施されました。会員の皆さまの御協力に感謝いたします。今号は設立30周年にちなんだ記念号と致しました。

センターの歴史を振り返る機会としていただければ幸いです。

会報も100号に向けて、会員の皆さんの情報誌として、進化してまいります。